

公共施設再編計画とは

公共施設再編計画とは、2015年度に策定した「町田市公共施設等総合管理計画（基本計画）」に定める基本方針等に基づき、推進する取り組みを定める計画です。

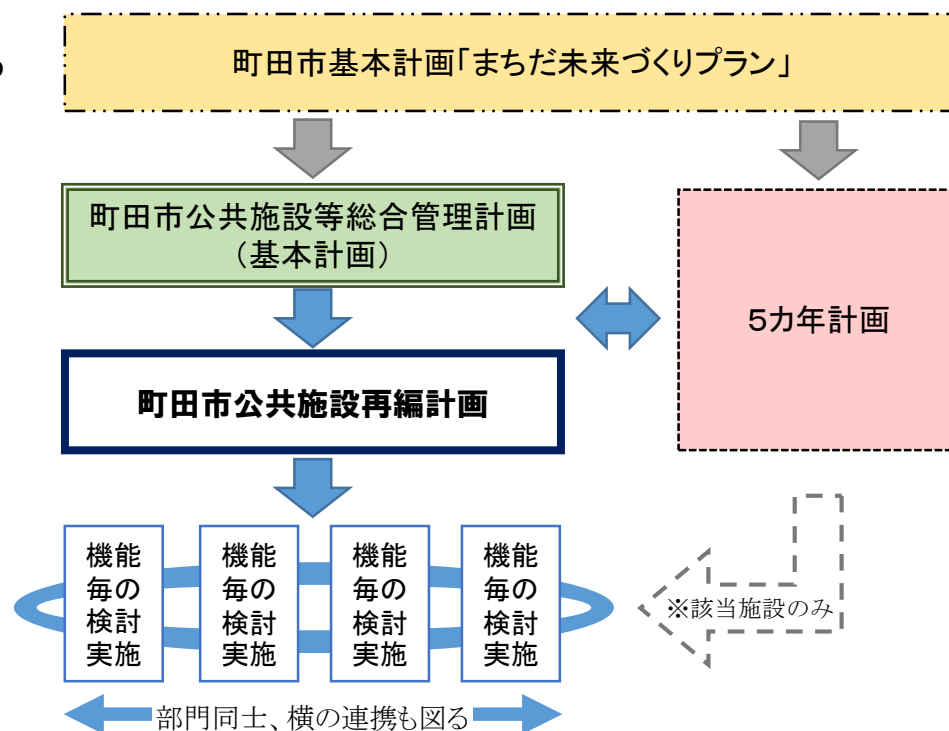
再編計画では、

- ①施設機能毎の方向性（2018年度～2055年度）
- ②短期（2018年度～2026年度）に取り組む内容（短期再編プログラム） 以上2つを定めます。

<再編計画の要素>

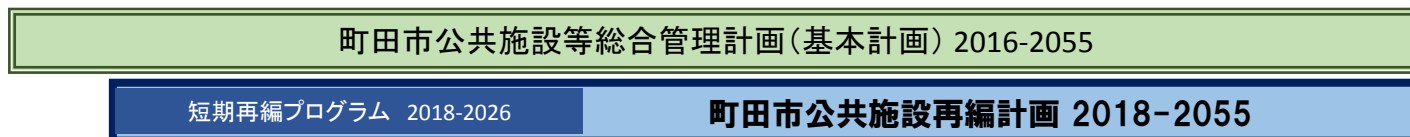
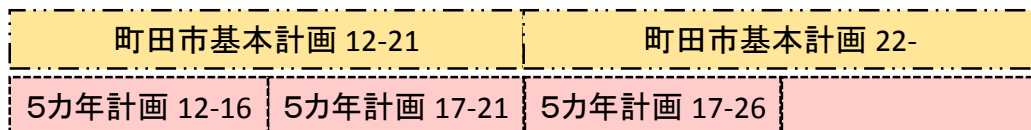


<再編計画の位置づけ>



再編計画にて示された施設機能毎の方向性やスケジュールに沿って、施設機能毎の具体的な再編内容の検討・実施を進める。※内容によって部門間連携を行う

<再編計画の期間>



● 再編計画を定める目的は何ですか？

再編計画は、2016年3月に策定した「町田市公共施設等総合管理計画（基本計画）」に基づいて、着実に必要な取り組みを進めていくために策定するものです。そこで、将来を見据えた公共施設・公共空間のより良いかたちの実現を目指し、再編の方向性を示すとともに、いつどのような取り組みを行うかを定めることで効果的・効率的な施設再編を推進します。

● 施設再編の前にサービスのあり方の議論が必要ではないのか？

公共施設・公共空間のより良いかたちを実現していくために、施設をどのように再編していくかという検討と並行して、サービスのあり方についても必要な見直しを行っていきます※。

※『5ヶ年計画17～21』の「行政経営改革プラン」においては、公共施設における行政サービス改革（改革項目3-3）を定めています。

● 再編計画には具体的な施設の再編内容が記載されないのか？

再編計画では、施設機能毎の再編の方向性と、時期毎（短・中・長期）の取り組みを定め、そのうち2018～2026年度の9年間については、「短期再編プログラム」として年度毎の取り組み内容等を記載予定です。具体的な個々の施設の再編内容※については、再編計画で定めた再編の方向性やスケジュールに沿ってサービスの見直し等も含め必要な検討・調整等を行い決定していきます。

※計画策定時点で既に方向性が決定している施設は除きます。

● 各施設所管部門が具体を検討するのでは、複合化などの部門横断的な取り組みが効果的に進まないのではないのか？

複数の事業分野が関連する取り組みは、公共施設マネジメントの推進担当をはじめ関連する部門で必要な情報の共有や調整を行い、部門横断的に連携し進めていきます。

● 短期再編プログラムとはどのようなもので、どんなことが書かれるのか？

「短期再編プログラム」は、2018～2026年度の9年間にどのような取り組みを行うかを明らかにするものです。

何を対象として、いつ、どのような検討や決定を行うのか等を記載します。

【第4回検討委員会(17.04.18) 資料2 P35「学校」より】

■ 今後の方向性

集約 複・多 長 活用

学校施設の適正な維持・管理のため建物の長寿命化や計画的な建替えを実施する。また、児童生徒数の減少に対応した学校の適正規模・適正配置を行うことにより、建物の総量圧縮を図る。さらに、学校施設の有効活用や他機能との複合化・多機能化等により多様な人々が交流し活動する場を創出し、愛着ある地域拠点施設とする。

- ✓ 建物の大規模改修や建替えを計画的に実施する。
- ✓ 段階的に必要な適正規模・適正配置を実施する。
- ✓ 教育活動で使用しない教室数の状況や建物の大規模改修・建替えの時期を捉え、周辺の公共施設等の複合化を実施する。
- ✓ 教室の未利用時間の積極的な活用を図る。

取り組みの時期

短期（2018～2026年度）→最初の9年間

- ・ 長寿命化が適する建物の大規模改修を実施するとともに、周辺の公共施設を複合化する。
- ・ 中期に実施する具体的な適正規模・適正配置の案を策定する。
- ・ 教育活動で使用しない教室や教室の未利用時間の積極的な活用を図る。【継続】
- ・ 民間施設のプールの活用等によるプールの集約を検討する。

中期（2027～2036年度）

- ・ 適正規模・適正配置により統廃合を進め、大規模改修と建替えを実施するとともに、周辺の公共施設を複合化する。【継続】

長期（2037～2055年度）

今後、短期における取り組みを具体化し、9年間の進め方（スケジュールリング）や再編における留意事項等を施設機能毎に落とし込んでいきます。